

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

- ☆最初のISS構成要素打上げから2174日経過しました
- ☆第10次長期滞在クルーのISS滞在は18日経過しました
- ☆ISS動向

第10次長期滞在クルーのリロイ・チャオとサリザン・シャリポフ両宇宙飛行士は、米国時間10月23日に第9次長期滞在クルーから引き継ぎを終えた後、短い休日を過ごしました。

アースカム(Earth Knowledge Acquired by Middle School Students: EarthKAM)と呼ばれる社会や理科の教育プログラムに使用するデジタルカメラが「デスティニー」(米国実験棟)の窓に取り付けられました。EarthKAMプログラムでは、学生たちがISS上の装置を使って地球の任意の地域を選んで撮影することができます。

科学実験では、長期間にわたる微小重力が生体に及ぼす影響を調査する生物医学実験に参加しました。

ふたりはまた、毎日1時間、ISSシステムや手順についての全般的な習熟訓練を行っており、それに加え、緊急脱出方法や窓の点検方法について軌道上訓練を受けました。

一方、地上では、第9次長期滞在クルーのゲナディ・パダルカ、マイケル・フィンク両宇宙飛行士が飛行後報告と医学検査のためロシア郊外にある星の街に滞在しており、11月中旬にヒューストンへ移動する予定です。



「カナダアーム2」(ISSのロボットアーム)の操作を行うチャオ宇宙飛行士



生物学実験用の保育器(インキュベータ)の準備をするシャリポフ宇宙飛行士

“スペースシャトル飛行再開に向けて”

☆NASA、新たな打上げ予定時期発表

NASAのSFLC(Space Flight Leadership Council、宇宙飛行リーダーシップ委員会)は、米国時間10月29日に会議を開催し、野口宇宙飛行士が搭乗するスペースシャトルミッション(STS-114)を、同2005年5月12日から6月3日の間のロンチウインドウ(打上げ機会)に打ち上げることを承認しました。

NASAは今年8月から9月にかけてのハリケーンがNASA各施設に襲来するまでは来年初3月の打上げに向けて作業をしていましたが、ケネディ宇宙センター(フロリダ州)、マーシャル宇宙飛行センター(アラバマ州)、ステニス宇宙センター(ルイジアナ州)、ミショー組立工場(ルイジアナ州)は4つのハリケーンのため1回は閉鎖を余儀なくされ、この影響による作業の遅れによるものとしています。



一時的な修復を行ったスペースシャトル組立棟(VAB)

NASA関連ページ: http://www.nasa.gov/home/hqnews/2004/oct/HQ_04363_rtf_window.html

“インフォメーション”

☆宇宙への芸術的アプローチ共同研究報告会開催のご案内

宇宙における芸術表現の可能性やそのための条件と方法を研究し、「きぼう」日本実験棟を核とした宇宙環境における芸術プロジェクトの実現をめざして提案と創作実践を行う京都市立芸術大学とJAXAの共同研究成果報告会が開催されます。若田宇宙飛行士による講演も行われます。入場無料ですので多くの方の参加をお待ちしています。

●日時: 2004年11月22日(月) 午後1時～午後5時30分

●場所: 京都市立芸術大学大学会館 京都市西京区大枝沓掛町13-6

JR京都駅バスターミナルから

C2のりばから京都交通バス亀岡行きまたは大原野方面行きに乗車、芸大前で下車(約45分)

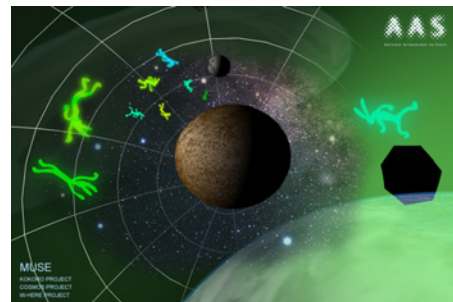
C5のりばから市バス73番に乗り、国道沓掛口または新林池公園で下車(約45分)

●内容: 研究報告、講演、ディスカッション

●問合せ先: 美術学部・音楽学部教務課 Tel.075-334-2220

JAXA宇宙環境利用センター Tel.029-868-3618(担当: 浜田)

●主催: 京都市立芸術大学 共催: JAXA



問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。